

学科 学年	E 2	科目 分類	数学B Mathematics B	講義 必修	通年 2履修単位	学習教育目 標 B	担当	前期 沢井、後期 谷 SAWAI, TANI
概 要	2次曲線と線形代数の基礎を学習する。							
科目目標 (到達目標)	円、楕円等の2次曲線と平面上のベクトル、空間内のベクトルの内積、直線と平面のベクトル表示、線形独立等を理解し、応用できること。行列の定義と逆行列を理解し、計算できること。							
教科書 器材等	新訂基礎数学、新訂線形代数、新訂基礎数学問題集、新訂線形代数問題集(大日本図書) 高専の数学 1、2 問題集 (森北出版)							
評価の基準と 方法	試験の成績で評価する。黒板への問題解答を怠ったとき、真摯な学習態度でないとき、課題を提出しないときは減点する。試験の成績が不良の者は指定した課題のレポート、または再試験が良好ならば試験の点数に加点する。							
関連科目	1年数学A1、数学A2、数学B							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回		円						
第2回		楕円						
第3回		双曲線						
第4回		放物線						
第5回		2次曲線と直線						
第6回		不等式と領域						
第7回	×	定期試験						
第8回		平面上のベクトル						
第9回		ベクトルの演算						
第10回		ベクトルの成分						
第11回		ベクトルの内積						
第12回		図形への応用						
第13回		空間座標						
第14回		演習						
第15回	×	定期試験						
第16回		空間内のベクトルの成分						
第17回		内積						
第18回		直線の方程式						
第19回		平面の方程式						
第20回		球の方程式						
第21回		線形独立、線形従属						
第22回		演習						
第23回	×	定期試験						
第24回		行列の定義						
第25回		行列の和、差、数と積						
第26回		転置行列						
第27回		行列の積						
第28回		逆行列						
第29回		演習						
第30回	×	定期試験						
オフィス	原則として、授業、会議、クラブ指導以外の勤務時間内、研究室前に掲示する。							
授業アンケートへの対 備 考	予定した範囲を教えること。							
更新履歴	2009/3/9新規							